

第30回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

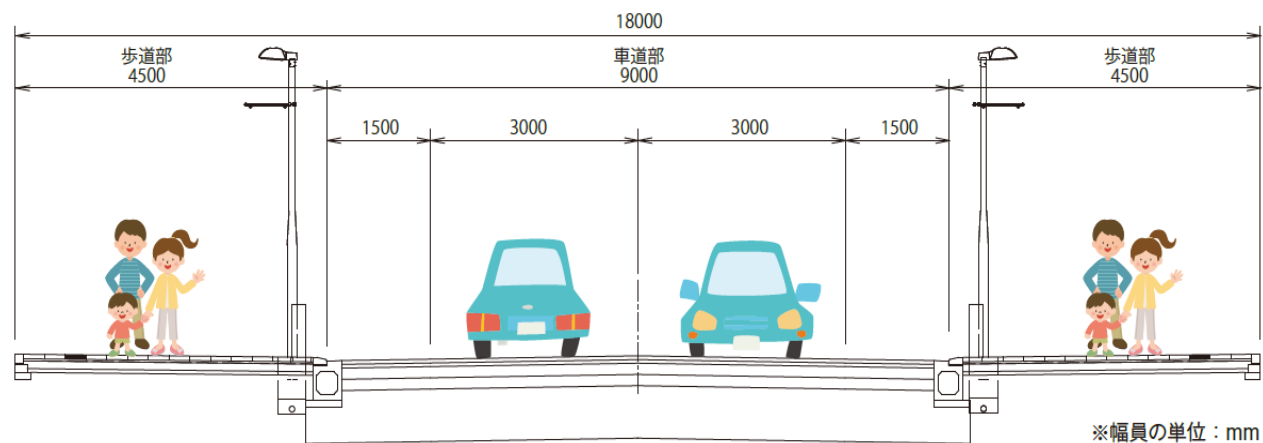
ふりがな 応募者名		いばらきけん みとどぼくじむしょ 茨城県 水戸土木事務所	
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ えきまえかいがんせん がいろかいりょうじぎょう 都市計画道路 駅前海岸線 街路改良事業	
	ふりがな 事業主体	いばらきけん 茨城県	
	ふりがな 実施都市名	いばらきけん ひがしいばらきぐん おおあらいまち 茨城県 東茨城郡 大洗町	
事業概要 (400字以内)		大洗町は夏の海水浴をはじめ、アクアワールド大洗水族館やマリンタワーなどの観光施設が集積する県内屈指の観光地である。駅前海岸線は、大洗町の玄関口である鹿島臨海鉄道の大洗駅と沿岸部の茨城港大洗港区周辺を結ぶ、まちの顔となる都市計画道路であり、東日本大震災時には津波による甚大な浸水被害が発生したことから、「津波避難路」としての役割を担うとともに、大洗町の復興のシンボルロードとして大変重要な路線である。 当路線は、平成24年3月に大洗町が策定した「大洗町震災復興計画(復興ビジョン)」に津波避難路として位置付けられ、復興交付金事業により平成24年度から茨城県が整備を進め、住宅密集地を横断する道路にも関わらず、地権者及び地域住民の協力により、震災からわずか5年8ヶ月の平成28年11月7日に全線供用開始することができた。	
事業規模		○事業延長:687m ○事業費:約18億円 ○幅員:18/6m ○事業期間:平成24年度～平成28年度	
事業の目的		・津波等の災害発生時に沿岸部の住民や観光客を高台にある大洗駅まで安全かつ速やかに避難させる津波避難路としての防災機能 ・駅と沿岸部にある観光・集客施設が結ばれることによる、中心市街地の活性化や大洗町の観光業の復興 ・生活道路としての利便性の向上(駅へのアクセスの向上、歩道設置や連続照明灯による快適な歩行空間の確保)	
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		・津波発生時には、沿岸部の住民や観光客のうち約1.2万人を避難開始から約18分で高台にある大洗駅まで避難誘導することが可能となった。(※約1.2万人とは、海水浴シーズンの観光客及び浸水区域の住民約11万人のうち、当路線が避難を担う人数) ・大洗駅周辺と沿岸部の観光・集客施設が1本の道路で結ばれたことにより、住民の交通利便性と観光客の回遊性を高めることができた。 →各種イベントが盛況・大洗マリンタワー前広場で開催する「大洗あんこう祭」の来客数が約2割増(H27:11万人→H29:13万人) ・当路線に「きらめき通り」の愛称が付けられ、歩行者天国にした「キラキラ☆きらめきin大洗」を定期的に開催 →大洗町が舞台となっている人気アニメ「ガールズ&パンツァー(ガルパン)」の影響により、ウォークラリー(聖地巡礼)する若者が快適に回遊できるようになった。(当路線にガルパンをモチーフにしたマンホールを大洗町が設置したことで話題を集めている) ・地元でイベントが開催された休日の交通量(12h)は歩行者約1700人、自転車約480台を数えるなど、地域住民だけでなく、観光客にも周知され利用されていることが伺える。	
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点	・住宅密集地を横断する道路であることから、多数の物件移転を伴う用地買収や、工事に伴う全面通行止めにより商店街を分断させざるを得ないなどの交通影響が生じたが、地権者は実際に津波の被験者であることから当路線の整備に寄せる期待が大きく、「震災からの復興」という目的のもとに行政(県・町)と地権者及び地域住民が官民一体となり、短期間で事業を完了させるに至った。 (用地買収:約50件の補償物件を開始から約2年で完了、工事:開始から1年弱で完了)	

事業位置図

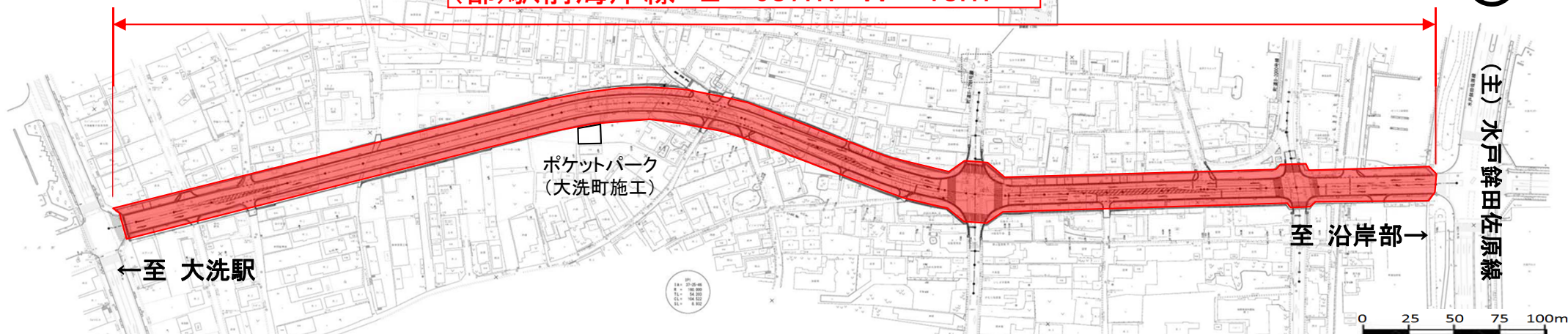


全体図(平面図・横断図・縦断図)

標準横断図



(都)駅前海岸線 $L=687m$ $W=18m$



事業前写真

平成27年5月撮影



平成23年3月撮影



東日本大震災の状況（大洗町役場周辺に押し寄せた津波）

平成27年5月撮影



平成23年3月撮影



東日本大震災の状況（住宅地に押し寄せた津波）

事業後写真

平成28年11月撮影



平成28年11月撮影

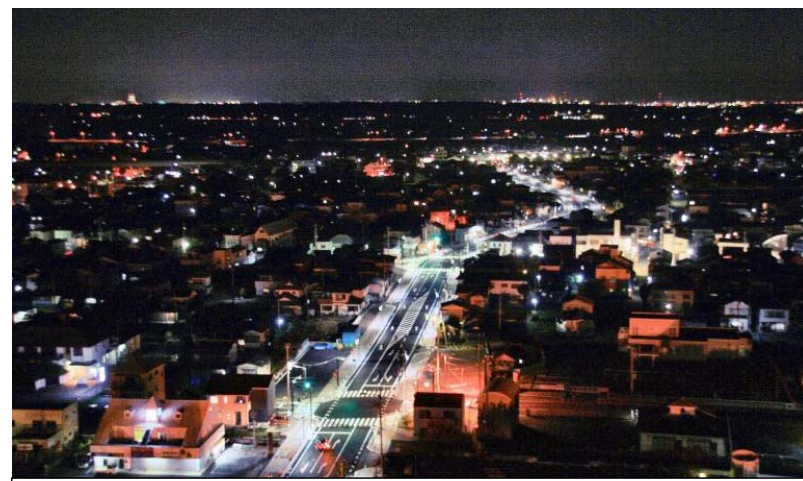


あんこう祭り開催時 駅前海岸線を通して駅⇄会場間を移動

平成28年11月撮影



平成28年11月撮影



大洗マリンタワーからの夜景

駅前海岸線の事業効果アピール資料



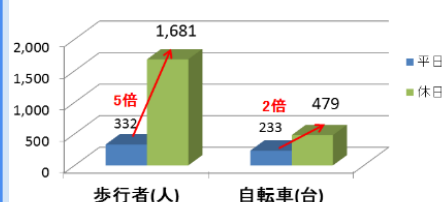
自転車マーク・ラインで誘導



ご当地マンホール

歩行者・自転車の交通量が増加！

歩行者・自転車交通量(人・台/12h)



イベントの来客数が増加！

大洗あんこう祭の来客数(人)



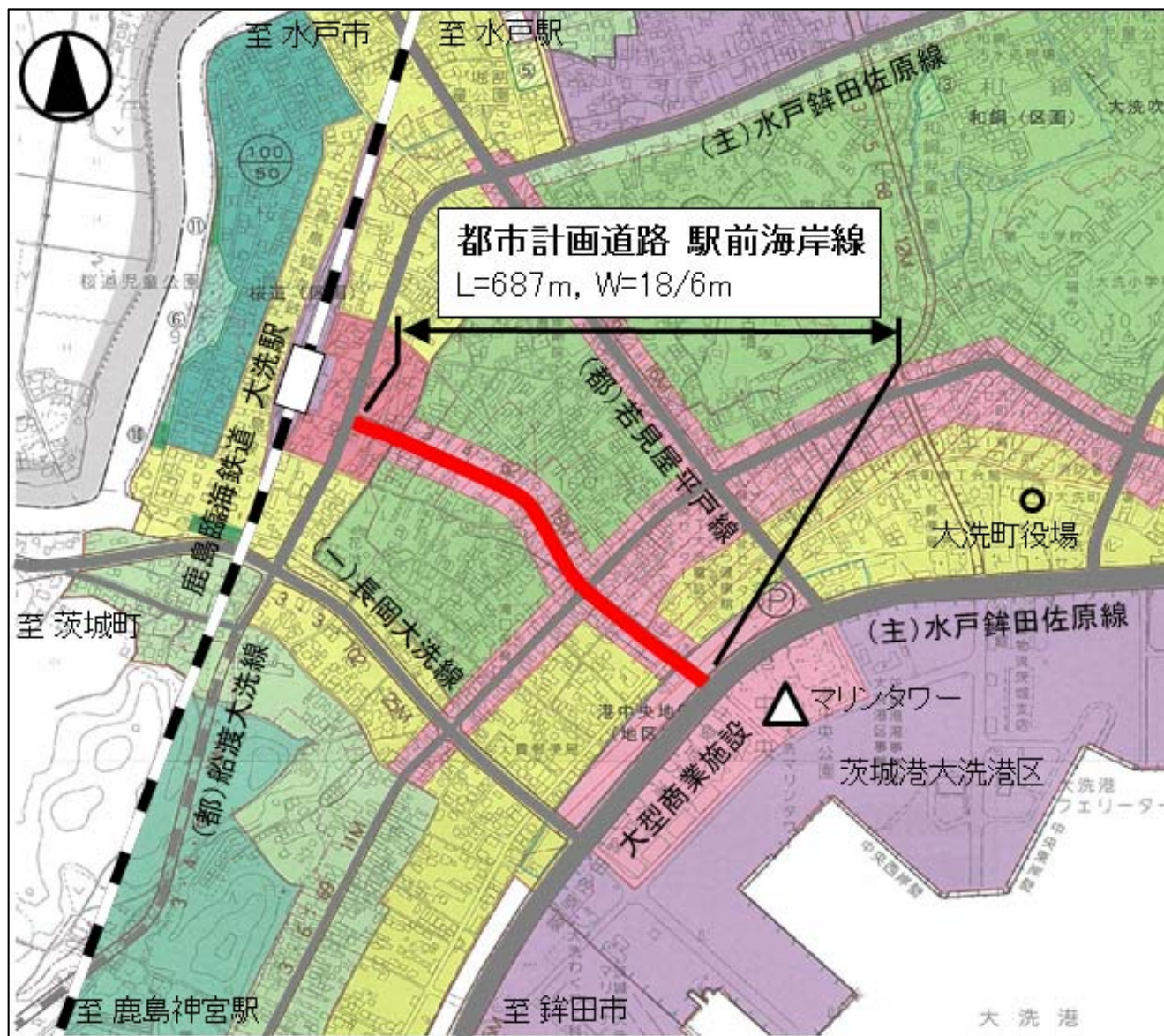
キラキラ☆きらめきin大洗の様子



「事業効果」

- 津波発生時には沿岸部の住民や観光客(約1.2万人※1)を、避難開始から約18分※2で大洗駅まで避難誘導が可能となった。
 - ※1 道路の収容可能人数 $L687m \times W18m = 12,366人(m)$ (収容可能人数を1人/mとする)
 - ※2 道路の歩道及び車道を時速2.3km(徒歩)で避難する場合(東日本大震災では地震発生から29分後に津波を観測)
- 大洗町から「きらめき通り」の愛称が付けられ、整備された道路空間を活用し、地元商店街による歩行者天国のイベント「キラキラ☆きらめきin大洗」が定期的で開催され、町のシンボルロードとして新たな賑わいの場となっている。
- 休日の道路利用者をみると平日に比べ大幅に増えていることから、近隣のイベントとの相乗効果もあり、駅前海岸線は地元住民だけでなく、観光客の方にも周知され、利用されていることが伺える。

路線全体の進捗状況

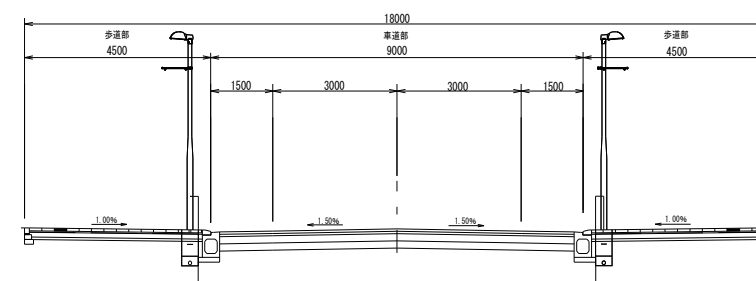


標準横断面図

事業前

2.0~4.0m

事業後



凡 例

- 今回応募区間
- 既設道路

都市計画図

